

No.29-21 平成 30 年 2 月 27 日	<h2>漁況情報・浜の話題</h2>	神奈川県水産技術センター 企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531
------------------------------	--------------------	---

### ● 浜 の 話 題

- 2月1日、県水産課と県立海洋科学高等学校は、同校の2年生を対象として、漁業への就業について学ぶ漁業セミナーを開催しました。セミナーでは、先輩漁師の体験談として、長井町漁協と城ヶ島漁協に所属する漁業者から、就業した経緯や漁業のやりがいなどについての話があり、県水産課からは、漁業への就業の方法や神奈川県の漁業について説明がありました。
- 2月2日、大磯二宮漁協に地元大磯高校の2年生の生徒16名が、「海から磯高」という体験学習で訪れました。当日は、あいにくのしけ模様で、海上での定置網見学当は中止となりましたが、(有)湘南定置網による朝どれのマアジを使った魚のさばき方教室で、3枚おろしや開き方を実習したそうです。当日は、同漁協のご厚意で地元の野菜を使ったマアジのつみれ汁が提供され、参加した高校生からは「とても良い体験になった」との感想がありました。
- 2月3日、茅ヶ崎市漁協は茅ヶ崎漁港で「生わかめまつり」を開催しました。今年は、茅ヶ崎地先の水温が前年と比べて低目で経過したため養殖ワカメの生育が良く、同漁協が直売した生わかめは、20分足らずで完売となったそうです。当日は、旬の「えぼしわかめ」のポン酢和えや味噌汁も振舞われたとのこと。
- 2月9日、平塚市漁協伏黒総務主任と磯崎指導漁業士はチョウセンハマグリの漁法について藤沢市漁協を視察しました。当日は、同漁協の葉山組合長からチョウセンハマグリの漁具・漁法や漁場の水深・特徴について教えていただくとともに、漁具も提供していただきました。平塚市漁協では、地先海域でのハマぐりの分布調査を実施する予定だそうです。



葉山組合長にチョウセンハマグリの漁具や漁法について教えて頂く平塚市漁協の皆さん

- 2月10日、東京都の第一生命ホールにて平成29年度水産多面的機能発揮対策事例報告会が開催されました。この報告会では、城ヶ島藻場保全活動組織が漁獲したアイゴの有効活用を検討している事例がポスター発表されました。
- 2月10日、横浜市漁協柴支所で、アカモクの収穫が始まりました。昨年4月、5月に若手グループがアカモク増殖試験に取組み、アカモクが生えていない場所に成熟したアカモク親株（雌株）を移植したところ、新たにアカモクが繁殖し、増殖試験の成果が得られました。今後は、資源を大切にするために、根こそぎ獲らずに伸長した部分のみを刈り取って育てながら収

穫するとのことです。そして、来年に向けて漁期の終わりまで親株を残すとともに、さらに移植も行い、アカモク資源の維持増大を図りたいとしております。



新たに増殖に成功したアカモク藻場

- 2月10日、藤沢市が主催するワカメ収穫イベントが江の島片瀬漁協の協力のもと、片瀬漁港で開催されました。当日は市内の親子連れ150名が参加し、昨年12月に種挿しして2ヶ月間で大きく成長したワカメを見た参加者は驚いていたとのことです。収穫後、ワカメのしゃぶしゃぶと定置網に入ったワカシ等の地魚が提供され、参加者は旬のワカメと合わせて江の島の地魚の味覚を満喫していたそうです。
- 2月15日、平塚市漁協はJAあつぎ本所にて開催された「神奈川県食と農のマッチングフェア2017大交流会」に参加しました。当日は、同漁協の6次産業化の企画から誕生したシイラ・ソウダカツオ・サメ燻製等をスーパーや小売業者、飲食業、その他関係機関の方々に試食してもらいながら、商品のこだわりについて説明し、「良いPRの場となった」とのことです。

## ●お知らせ

- 3月4日（日曜日）、小坪漁協はJR逗子駅前広場にて、「小坪わかめ収穫祭」を開催します。1袋500円で養殖ワカメの詰め放題が体験できます。開催時間は、午前10時から売り切れまでの予定です。
- 3月9日（金曜日）11時から小田原水産合同庁舎会議室にて、平成29年度第2回相模湾定置網漁海況予測説明会を開催します。今回の説明会では、平成29年下半年期の定置網での漁獲経過と黒潮流路の経過の説明、平成30年上半期の見通しをお話します。話題提供として、「相模湾西湘海域への春ブリ来遊予測」と「サバ類の資源状況と標識放流調査から見てきた神奈川県沿岸での移動・回遊」の2題を予定しています。多くの漁業関係者の出席をお待ちしております。